

事業シート(平成30年度決算)

事業名	21700 地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	2	総務費		個別分野	3	土地利用		
			項	1	総務管理費		施策概要	1	総合的な土地利用		
			目	18	地籍調査費		根拠計画				
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争を防止する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。 ・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	57%		

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		211,193	118,858	161,166	194,166	145,829	26,971
特定財源	国費()						
	県費(地籍調査事業費3/4)	157,500	88,091	120,000	144,552	107,711	19,620
	その他()						
一般財源		53,693	30,767	41,166	49,614	38,118	7,351
個票枝番	主な事業内容						
	測量等委託	150,000	117,855	160,000	193,000	144,758	26,903

4.平成31年度予算編成(Action)

		H31予算		実施計画額		150,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
159,527	161,166	161,166	0				
118,952	120,000	120,000	0				
40,575	41,166	41,166	0				
査定額	説明						
160,000	地籍調査測量						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績・評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 3.83km ² (市内0.43km ² 丹生川地域0.19km ² 清見地域0.47km ² 久々野地域0.64km ² 朝日地域1.55km ² 国府地域0.28km ² 上宝地域0.27km ²)
評価等	・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、事業量を増加することができた。 ・着実な事業着手に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・国の第6次十箇年計画に基づき地籍調査を推進し、進捗率を高める。

5.平成30年度事業実績・評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 4.01km ² (高山地域0.32km ² 丹生川地域1.56km ² 清見地域0.17km ² 久々野地域0.17km ² 朝日地域0.27km ² 国府地域0.74km ² 上宝地域0.78km ²)
評価等	・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、事業量を増加することができた。 ・着実な事業着手に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・令和2年度から新たに策定される国第七次十箇年計画に基づき地籍調査を推進し、進捗率を高める。

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求ポイント	・国土調査法に基づく、森林部の境界明確化に必要な調査等の実施

財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
			項	1	総務管理費		施策概要	4	低炭素社会の形成		
			目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2233								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5.6万トン		11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		5,350	1,636	2,850	2,850	2,299	663
特定財源	国費()						
	県費(森林づくり交流推進事業費 68/100)	3,000	878	1,700	1,700	1,300	422
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	1,000	284	400	400	430	146
一般財源		1,350	474	750	750	569	95
個票枝番	主な事業内容						
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	5,200	1,481	2,700	2,700	2,160	679
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	150	155	150	150	50	△ 105

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,765	2,850	2,850	0	
1,700	1,700	1,700	0	
400	400	400	0	
1,665	750	750	0	
査定額	説明			
2,700				
150				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 7.17ha) ・みどりふれあうフェスティバルに出展 ・みなと森と水ネットワーク会議に参加
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、利用間伐から保育間伐に変更し実施した。引き続き、現地の状況を確認し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 10.67ha) ・みどりふれあうフェスティバルに出展 ・みなと森と水ネットワーク会議に参加
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、利用間伐から保育間伐に変更し実施した。引き続き、現地の状況を確認し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・飛騨・高山の農林畜産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市場拡大を目指します。
			款	2	総務費		個別分野	6	林業		
			項	1	総務管理費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	19	環境政策費		根拠計画				
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。 ・市産材使用量に応じ、家具等木製品を贈呈する地産外消タイプの実施 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助 ・県産直住宅組合への負担金
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
伐採された木材の利用率	57%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29			H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	51,390	41,946	43,390	43,390	37,459	△ 4,487	
特定財源							
国費 ()							
県費 (匠の家づくり支援事業費 1/3, 1/2)	320	225	320	320	250	25	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	25,000	25,200	13,000	13,000	8,600	△ 16,600	
一般財源	26,070	16,521	30,070	30,070	28,609	12,088	
個票枝番	主な事業内容						
	匠の家づくりに対する助成	30,390	35,581	30,390	30,390	30,680	△ 4,901
	東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業	20,000	5,367	12,000	12,000	5,779	412
	高山・中津川創生連携協議会負担金	800	798	800	800	800	2

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		56,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
42,950	43,090	43,090	△ 300	
250	320	320	0	
	8,000	8,000	△ 5,000	
42,700	34,770	34,770	4,700	
査定額	説明			
30,390				
12,000				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・匠の家づくり支援事業 ・高山市匠の家支援事業補助金 (建築主市内建築型) 85棟 (市外建築型) 28棟 ・東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 61棟(市産材230㎡) ・産直住宅建設促進事業補助金
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・事業開始から2か年が経過した中津川市連携事業は、事業のPRなどにより、徐々に企業などに利用されており、利用件数の増加につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川市連携事業は、前年度と比較しても、着実に建築戸数が増加し、事業が定着している。次年度以降も、中京圏を中心に高山市産材の利用拡大を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・匠の家づくり支援事業 ・高山市匠の家支援事業補助金 (建築主市内建築型) 76棟 (市外建築型) 28棟 ・東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 58棟(市産材291㎡) ・産直住宅建設促進事業補助金
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・事業開始から3か年が経過した中津川市連携事業は、事業のPRなどにより、徐々に企業などに利用されており、利用材の増加につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川市連携事業は、高山市産材使用料が増加している。次年度以降も、中京圏を中心に高山市産材の利用拡大を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・市産材の需要拡大の促進

財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53100 林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	1	林業総務費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
----	-------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670m ³		127,000m ³
伐採された木材の利用率	57%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	65,876	65,232	35,997	35,997	34,850	△ 30,382	
特定財源							
国費()							
県費(県移譲事務交付金)	268	375	375	375	385	10	
その他(使用料、負担金等)	120	124	120	120	133	9	
一般財源	65,488	64,733	35,502	35,502	34,332	△ 30,401	
個票枝番	主な事業内容						
	林道の修繕工事	60,000	59,700	30,000	30,000	29,300	△ 30,400
	林道の維持管理	3,000	2,830	3,000	3,000	2,718	△ 112

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
42,814	35,664	35,664	△ 333	
375	385	385	10	
120	120	120	0	
42,319	35,159	35,159	△ 343	
査定額	説明			
30,000				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・林道修繕工事 70件 ・林道管理委託 22件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・林道修繕工事 38件 ・林道管理委託 16件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53200 市有林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	57%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		38,480	29,209	38,180	38,519	36,298	7,089
特定財源	国費()						
	県費(市有林整備事業費 68/100、80/100)	17,000	11,175	10,000	10,000	9,516	△ 1,659
	その他(物品売払収入、市有林整備事業雑入、基金繰入金)	17,400	18,034	19,400	19,400	18,768	734
一般財源		4,080	0	8,780	9,119	8,014	8,014
個票枝番	主な事業内容						
	市有林の整備工事	33,000	24,074	33,000	33,000	30,957	6,883

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
18,194	17,920	17,920	△ 20,260	
9,649	10,400	10,400	400	
720	3,120	3,120	△ 16,280	
7,825	4,400	4,400	△ 4,380	
査定額	説明			
14,300	保育間伐ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・間伐 31.96ha、作業道開設285m ・市有林施業管理面積 1,461ha
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。 ・国等の補助を活用し事業を実施したが、補助金の配当が見込みより減額されたことにより、予定した事業量はできなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業者等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・間伐 49.86ha (丹生川 22.26ha、久々野 27.6ha) ・作業道修繕 3件
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。 ・国等の補助を活用し事業を実施したが、補助金の配当が見込みより減額されたことにより、予定した事業量はできなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業者等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げて助成 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対して助成 ・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して、市単独事業により助成
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	57%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	205,600	205,597	90,000	90,000	66,833	△ 138,764	
特定財源							
国費 (緑の保全事業費 1/2)	1,000	1,125	1,000	1,000	1,125	0	
県費 (緑の保全事業費 1/2)	1,500	2,854	9,000	9,000	7,459	4,605	
その他(緑の基金利息収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	54,532	77,504	32,677	32,677	37,842	△ 39,662	
一般財源	148,568	124,114	47,323	47,323	20,407	△ 103,707	
個票枝番	主な事業内容						
	間伐に対する助成	7,041	7,041	25,000	25,000	16,328	9,287
	間伐材利用に対する助成	9,247	9,247	18,000	18,000	16,273	7,026
	未利用資源活用に対する助成	20,107	20,107	28,000	28,000	23,712	3,605
	自伐林家型の森林整備に対する助成	2,150	2,150	9,000	9,000	7,341	5,191
	倒木処理に対する助成	158,680	158,680				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		55,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
86,708	80,000	80,000	△ 10,000	
1,125	1,000	1,000	0	
6,192	6,000	6,000	△ 3,000	
1,953	13,055	13,055	△ 19,622	
77,438	59,945	59,945	12,622	
査定額	説明			
23,000	間伐事業			
17,000				
27,000				
6,000				
	平成26年度豪雪による倒木処理の終了			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業 129ha ・間伐促進事業 4.22ha ・間伐作業道開設事業 9,003m ・軽作業道開設事業 1,502m ・間伐材利用促進事業 6,169㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型)10,056㎡ ・未利用資源活用促進事業(買取型)708t ・小規模森林整備事業 0.85ha ・倒木処理支援事業(一体処理型)27,762本 ・倒木処理支援事業(集運限定型)51㎡
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・倒木処理支援事業を3か年実施し森林整備の支障も減り、作業道開設事業も増加した。 ・事業体は倒木処理と森林整備を並行して実施しており、木材生産量も増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業 267.45ha ・間伐作業道開設事業 3,232.0m ・軽作業道開設事業 1,501.1m ・間伐材利用促進事業 10,853,478㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型)10,519,102㎡、(買取型)893.6㎡ ・自伐林家型地域森林整備事業 26.59ha、L=250m ・人工造林 1.99ha ・下刈 4.91ha
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月の豪雨災害により林道等の一部が被災したため、間伐は予定した事業量ができなかったが、木材搬出率を高めるよう努めたことにより、間伐材搬出量は増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	3	担い手の育成・確保		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。 地域の森林づくりを担う林業グループを育てる。 美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。 高山市美しい森林づくり実行委員会による講演会および研修会等を開催する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
森林技術者数	165人		260人

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,250	937	1,200	1,129	946	9
特定財源	国費()						
	県費(林業改良普及事業費 1/3)	350	300	350	350	300	0
	その他()						
一般財源		900	637	850	779	646	9
個票枝番	主な事業内容						
	林業グループ活動に対する助成	700	600	700	700	600	0
	高山市美しい森林づくり実行委員会負担金	150	150	150	150	150	0
	林業就業の促進	400	187	350	350	196	9

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

		H31予算	実施計画額	800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,277	1,200	1,200	0	
350	350	350	0	
927	850	850	0	
査定額	説明			
700				
150				
350				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。 高山市美しい森林づくり委員会の活動により、広葉樹施業研修会及び林業経営(指導者育成)セミナー講演会を開催し、林業事業者等の森林技術者に、広葉樹施業や伐採時の安全管理について研修を実施した。 広葉樹施業研修会(参加者 50名) 林業経営(指導者育成)セミナー講演会(参加者 40名) 森林技術者に対して、広葉樹施業技術や利用方法について講習会を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの活動は、種子採取育成や、育苗センター視察など再造林に関心が高まっている。 森林技術者を育成確保するため市内外の林業就業希望者へ効果的に広報等を行う必要がある。 広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が森林、林業に興味を持つよう、各林業グループは、視察研修や林業経営セミナー等から情報を収集し、その情報を発信するよう支援に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。 高山市美しい森林づくり実行委員会の活動により、チェーンソー研修会の開催や、林業就業促進ツアーを開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの活動は、種子採取、育苗からポット苗植林などの育林活動から、伐採時の選木や、チェーンソー目立研修、木の駅視察など利用販売までと再造林の意識醸成が高まっている。 広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 森林、林業に興味を持つ市民が増えるよう、各林業グループの視察研修や林業経営セミナーによる情報収集を支援することにより、情報発信を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求ポイント	・林業事業者等との連携による林業担い手の確保の推進

財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53240 林道整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	2	林業振興費		根拠計画				
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担 林道の早期完成 林道改良の実施 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 高山市の受益者負担金を支出する。 受益者組合への補助金を交付する。 県代行業業に対する負担金の支払い。 林道公共事業(国・県補助)を活用し、林道の改良を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670m ³		127,000m ³
伐採された木材の利用率	57%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	58,778	51,790	43,122	43,119	36,891	△ 14,899	
特定財源							
国費()							
県費(林道改良事業費 1/2、6/10)	29,000	27,602	14,920	14,920	14,350	△ 13,252	
その他()							
一般財源	29,778	24,188	28,202	28,199	22,541	△ 1,647	
個票枝番	主な事業内容						
	林道橋りょう点検	16,000	15,066	3,200	3,200	2,916	△ 12,150
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	7,500	4,487	7,500	7,500	3,458	△ 1,029
	林道改良工事費	24,000	23,087	24,000	24,000	23,234	147
	大規模林道賦課金元利補給金	8,188	8,187	6,332	6,332	6,332	△ 1,855

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		52,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
45,300	42,839	42,839	△ 283	
17,112	15,700	15,700	780	
28,188	27,139	27,139	△ 1,063	
査定額	説明			
4,500				
7,500				
24,000				
4,749				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績・評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線整備済延長 9,928m 宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) 受益者組合への補助金交付 2組合 林道改良工事の実施 (丹生川) 駄吉線 L=40.0m (清見) 夏厩~大倉線 L=42.0m (上室) 双六~瀬戸線 L=40.0m 林道橋りょう点検 34橋 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県の代行業業として実施する。(林道開設) 引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) 引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成30年度事業実績・評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線整備済延長 10,016m 宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) 受益者組合への補助金交付 2組合 林道改良工事の実施 (丹生川) 駄吉線 L=41.5m (清見) 夏厩~大倉線 L=37.0m (上室) 双六~瀬戸線 L=33.0m 林道橋りょう点検 7橋 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県の代行業業として実施する。(林道開設) 引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) 引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・インフラ長寿命化を目的とした橋梁点検を実施

財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

25_林務課.xlsx_10

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	3	担い手の育成・確保		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2236								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・保全機能の発揮される森林の整備をするとともに、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
「地元の木材が広く利用され、林業。木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	30.7%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,034	19,473	29,982	29,718	27,904	8,431
特定財源	国費()						
	県費(生活環境保全林整備事業費 1/2、10/10)	15,000	14,375	22,500	22,500	21,227	6,852
	その他()						
一般財源		5,034	5,098	7,482	7,218	6,677	1,579
個票枝番	主な事業内容						
	施設の維持管理	5,034	4,752	4,982	4,982	4,192	△ 560
	整備工事	5,000	4,914	5,000	5,000	4,968	54
	飛騨美濃せせらぎ街道沿線の景観整備	10,000	9,806	20,000	20,000	18,743	8,937

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
16,253	16,112	16,112	△ 13,870	
10,740	10,800	10,800	△ 11,700	
5,513	5,312	5,312	△ 2,170	
査定額	説明			
5,312				
800				
10,000	せせらぎ街道沿道修景			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境保全林の利用者数 108,184人 ・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 ・施設の修繕(てあいの森 看板基礎撤去、看板設置工事 1箇所、おくら滝遊歩道木橋付替工事) ・観光景観林整備(不要木除去 41.59ha)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。 ・観光景観林としての森林整備を行う。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境保全林の利用者数 99,272人 ・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 ・施設の修繕(清見 四季の郷 管理道整備工事、国府 洗心の森 法面修繕工事他) ・観光景観林整備(不要木除去 65.21ha)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。 ・観光景観林としての森林整備を行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・県補助金を活用した森林修景や施設の改修を進める。
財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_林務課.xlsx_10

53250

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53260 森林整備地域活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・計画的かつ一体的な森林の施策が行われるよう、その実施に不可欠な森林の現状調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	・市との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画の作成や森林施策を前提とした森林調査、境界の確認作業、林内作業路網の改良等)に要した経費と、対象面積に交付単価を乗じた額(基準上限額)を比較していずれか低い額を交付する。 (森林整備地域活動支援交付金事業:国、県、市の予算で費用負担)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670m ³		127,000m ³

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		9,490	9,476	33,090	33,089	5,245	△ 4,231
特定財源	国費()						
	県費(森林整備地域活動支援事業費 1/2、3/4)	7,623	7,623	22,545	22,545	4,072	△ 3,551
	その他()						
一般財源		1,867	1,853	10,545	10,544	1,173	△ 680
個票枝番	主な事業内容						
	森林整備地域活動支援事業補助	9,400	9,400	30,000	30,000	5,170	△ 4,230
◎ 1	林地台帳の整備			3,000	3,000	0	0
	森林経営管理アドバイザー等の配置						
	森林協会明確化の推進						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		71,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
90,205	70,590	70,590	37,500	
13,888	15,045	15,045	△ 7,500	
76,317	55,545	55,545	45,000	
査定額	説明			
20,000				
23,800				
19,200				
7,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・協定締結者数 3団体 ・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等
評価等	平成26年度に発生した倒木処理事業を優先的に実施してきたことから、当事業の実績は微増である。
次年度以降の考え方(担当課)	事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・協定締結者数 2団体 ・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等
評価等	・平成30年度に発生した激甚災害による林道等の被災により、現地確認が困難となったことから、事業の実績が減となった。
次年度以降の考え方(担当課)	事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課予算要求ポイント	・新たに始まる森林経営管理法に基づき、国版森林環境乗用税を活用した森林づくりの取り組みを実施

財務部査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

25_林務課.xlsx_12

事業名	53260 森林整備地域活動支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部 林務課
枝番・内容	1 林地台帳の整備		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	5	農林水産費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2234	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・林地台帳の整備により、森林所有者情報の精度向上および森林組合や林業事業者が、森林所有者に関する情報をワンストップで入手できることによる施業集約化の促進を図る。	概要	・森林法に基づく林地台帳及び地図を平成31年4月までに整備・公表する。 ・地籍調査、森林境界明確化、森林の土地の所有者届等により随時情報の更新を図る。
----	--	----	--

[参考] H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費	・データベース整備委託	
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do・Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	3,000
	繰越	
	補正等	
	最終	3,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	23,800
主な経費	・森林管理情報のシステム構築	
対前年度増減額(当初予算)		20,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・林地台帳(森林1筆毎のデータベース)の整備 ・林地台帳に付随する地図の整備 ・林地台帳の公表(高山市個人情報保護条例に基づく公表)
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期:林地台帳の整備 ・下半期:林地台帳の整備、公表に向けた広報等 ・平成31年3月下旬 林地台帳の公表

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・県の指導もあり年度当初は、市単独で林地台帳システムを委託構築する予定であったが、県の方針変更により、県が提供するデータベースを利用して、市が林地台帳を構築することが可能となったことから、直営により林地台帳が出来上がった。 ・平成30年度、国から提供されたシステムと、県から提供されたデータベースを活用し、基準に合った林地台帳を構成した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度により多岐にわたる地図情報を集め、利便性の高い森林情報管理システムを構築する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・森林管理情報のシステム構築 ・ソフト、エリア設定、データ照合分析 ・法務局公図データ編集配置、国土調査実施地区地図データ編集 他
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 発注 ・3月 完了 ・通年 事業進捗状況確認

事業シート(平成30年度決算)

事業名	53300 分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	3	分収造林費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
木材生産量	130,670m ³		127,000m ³
伐採された木材の利用率	57%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		17,112	16,230	18,117	18,117	16,900	670
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(分収造林事業受託収入)	17,000	16,124	18,000	18,000	16,790	666
一般財源		112	106	117	117	110	4
個票枝番	主な事業内容						
	分収造林の整備	17,000	16,124	18,000		16,790	666

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
18,060	18,120	18,120	3	
17,940	18,000	18,000	0	
120	120	120	3	
査定額	説明			
18,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 35.56ha (高山地域、丹生川地域、荘川地域、国府地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 23.74ha (丹生川地域、荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに